

全国産業資源循環連合会女性部協議会 第3回通常総会・講演会

日 時 令和7年6月20日(金) 10:00~13:00
 場 所 明治記念館 1階 芙蓉
 参 加 者 42名(40社)(愛知県からは東久保真弓会長
 今津悠見副会長・永井愛会計の3名が参加)
 主 催 全国産業資源循環連合会女性部協議会

全国産業資源循環連合会 女性部協議会主催の「第3回通常総会」が開催されました。山下田鶴女性部幹事の司会・進行のもと、東久保真弓女性部協議会副会長の開会宣言、全国産業資源循環連合会の永井良一会長と二木玲子女性部協議会会長によるあいさつで総会がはじまりました。

議長に二木会長が選任され、三好正佳女性部協議会世話人による議案の報告が行われ、賛成多数の拍手をもってすべての議案が承認されました。東久保副会長が閉会の辞を宣言し、総会は閉会となりました。

- 【第一号議案】 令和6年度 活動報告
- 【第二号議案】 令和6年度 収支決算
- 【第三号議案】 令和6年度 監査報告
- 【第四号議案】 令和7年度 活動計画(案)
- 【第五号議案】 令和7年度 収支予算(案)
- 【第六号議案】 役員選任承認
- 【第七号議案】 女性部協議会会則の一部改訂について

通常総会後は、講師に日本女子大学 名誉教授 大沢真知子氏を迎え「多様な人材を活かすためにアンコンシャス・バイアスを可視化する」をテーマに講演会を開催しました。21世紀に入り、キャリアを追求する女性は増加していますが、「ジェンダー・ギャップ指数2025年」では日本は148か国中で118位と女性活用がまだまだ進んでいない現状です。アメリカなどでは、結婚や出産といったライフイベントが退職理由となることも多いですが、制度の整備によって解決できるケースが多く見られます。一方、日本では、仕事内容への不満やキャリアの行き詰まりといった、より構造的な問題が退職理由として挙げられることが多いのが現状です。つまり、女性が活躍できない環境を職場(会社)自らが作り出しているのです。だからこそ、企業のトップが率先してダイバーシティの実現に取り組むとともに、無意識の偏見(アンコンシャス・バイアス)を一人一人が見直し、解消していくことが求められます。

アンコンシャス・バイアスとは、たとえば「男性はリーダーに向いている」「女性は事務仕事が得意」といったような、過去の経験や知識、周囲の環境から無意識に形成される偏見のことです。自分では気付きにくいので、知らず知らずのうちに他人や自分の可能性を狭め、不公平な状況を生み出してしまう恐れがあります。



また、日本社会には「好意的な差別」に対して迎合した方が場が円滑に進むという風潮があり、それが無意識のうちにセクハラを肯定し、助長してしまう傾向も見られます。企業がこれからも持続的に成長していくためには、時代に合わせた意識改革と行動が求められることを学びました。

講演会の後にはランチ会も開催され、全国の女性部との交流を深め、有意義な時間のうちに閉会となりました。

令和7年度事業計画(案)

- 1 女性部会長の開催
- 2 第3回通常総会
- 3 全産連室石専務理事との定例ミーティング
- 4 第3回全国女性部会のつどいの開催
- 5 実践研修会@鹿児島の実施
- 6 各分科会の活動
- 7 コミュニティサイトからの情報発信
- 8 研修会・交流会の開催
- 9 業界メディア、SNSなどで女性部協議会の活動報告などの情報発信
- 10 会員向け広報誌を発行(全国女性部会 News) 不定期
- 11 異業種との意見交換会の実施

〈来賓〉

日本女子大学 名誉教授 大沢真知子
 一般社団法人 和歌山県産業資源循環協会 相談役 松田美代子
 公益社団法人 全国産業資源循環連合会 会長 永井良一
 公益社団法人 全国産業資源循環連合会 専務理事 室石泰弘
 (順不同・敬称略)



あいさつをされる永井良一会長



左から今津悠見副会長、東久保真弓会長、永井愛会計